

## オープン市場短信 (2012年9月)

2012. 9. 11

### ◆ 8月のCP市場動向

8月のCP新規発行額は約3兆5300億円となり、期落ち（約3兆7400億円：当月発行分含む）を2100億円下回った（除く、相対発行・金融機関発行CP・ABC P）。

一般事法では、鉄鋼や不動産、建設等で増加したものの、電気機器と電力会社で2300億円以上の減少となり、また多くの業種で前月比を下回る発行となった。

月末残高は、前月比5287億円減少し15兆4353億円となり、8月としては過去5年間で最も低い残高であった。業態別の内訳は、金融機関が微増（+0.32%）したが、一般事法（-6.20%）とABC Pが大幅減少（-8.33%）し、その他金融が微減（-0.68%）となった。

発行レートは、銘柄間格差が生じている。電機メーカーとその関連銘柄は、投資家の慎重姿勢が一段と強まり、上昇。発行頻度の高い銘柄や電力会社等も若干強含み地合い。1M物未満の期間の短い発行案件については、足元の資金余剰もあってレートは低位安定推移となった。

新発3M物の発行レートは、最上位銘柄（a-1+格）で0.1079~0.170%、一般事業法人（a-1格）で0.1095~0.123%、その他金融銘柄（a-1格）では0.108%~0.180%。

### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

| 業 態    | 8月末残高   | 7月末残高   | 増減      |
|--------|---------|---------|---------|
| 一般事法   | 55,567  | 59,237  | ▲ 3,670 |
| その他金融  | 55,084  | 55,405  | ▲ 321   |
| 金融機関   | 26,247  | 26,162  | 85      |
| （政府系金融 | 730     | 500     | 130）    |
| （銀行等   | 11,591  | 11,030  | 561）    |
| （証券    | 13,926  | 14,632  | ▲ 706）  |
| ABC P  | 17,455  | 18,836  | ▲ 1,381 |
|        |         |         |         |
| 計      | 154,353 | 159,640 | ▲ 5,287 |

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

8月のCPレートレンジ

(単位 %)

| 格 付         | 1ヶ月               | 2ヵ月               | 3ヵ月               |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| a-1+(一般事法)  | 0.1020% ~ 0.1150% | 0.1050% ~ 0.1060% | 0.1079% ~ 0.1700% |
| a-1 (一般事法)  | 0.1050% ~ 0.1500% | 0.1095% ~ 0.1700% | 0.1095% ~ 0.1230% |
| a-1+(リース銘柄) | 0.1020% ~ 0.1090% | 0.1065% ~ 0.1068% | 0.1080% ~ —       |
| a-1 (リース銘柄) | 0.1070% ~ 0.1260% | 0.1070% ~ 0.1240% | 0.1080% ~ 0.1800% |
| a-2         | 0.125% ~ ケ 0.25   | 0.137% ~ ケ 0.35   | 0.142% ~ ケ 0.40   |

《CPオペ》

CP等買入オペは、10日・27日と2回の入札が行われ、オファー額は各回3千億円にて実施された。いずれのオペもディーラーの応札ニーズが強く、平均・足切りレート共に上昇する動きとなった。

月末の買入オペ残高は、1兆5242億円（前月比1729億円減）であった。

日銀(資産買入等の基金)によるCP買い入れオペ実績

(単位:億円)

| 実施日   | 実行日   | オファー金額 | 応札額   | 落札額   | 按分・全取  | 平均落札   | 按分比率  |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 8月10日 | 8月15日 | 3,000  | 8,380 | 2,545 | 0.113% | 0.114% | 60.7% |
| 8月27日 | 8月30日 | 3,000  | 6,575 | 2,945 | 0.119% | 0.116% | 17.8% |
|       |       |        |       |       |        |        |       |

《ABCP》

ABCPは前月比1381億円の減少、1兆7455億円となった。1兆8千億円を割り込み、低水準となっている。

《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、8月中は新規発行及び登録を行った企業は無かった。8月末時点における通算の発行企業数は521社、発行登録企業数は497社で前月比横這いであった。

《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、8月中は落ち着いて推移(0.10%近辺~0.105%)していた。

◆ 9月のCP市場動向

9月中のCP償還額は、8月末時点で約3兆9900億円と、前年同月の償還額(約5兆1000億円)を下回っている(除く、ダイレクトCP・金融機関発行CP・ABCP)。例年、9月・3月の決算月には月内物の発行が増加する傾向に有り、今年も8~9千億円程度の発行が見込まれる。

今月の発行動向は、前月に引き続き一般事法が中間期末の有利子負債圧縮目的で、9月末日償還の発行を行う事が挙げられる。9月末日償還は、8月末時点では1兆5千億円程度となっており、2兆2～3千億円となる見通し。

発行レートについては、ショートターム物や高格付け及びレア銘柄は、先月同様投資家ニーズが強く低位安定推移と思われる。

一方、電気機器や関連銘柄は、業績悪化懸念等のクレジットリスクの高まりからレートが急騰しており、この傾向はしばらく続くと考えられる。9月末期日物や発行頻度の高い銘柄は、運用サイドのビッドが退き気味となっていることから、強含みとなる動きとなっている。また、CP買入オペレートの上昇がレート形成に影響を及ぼす可能性も指摘される。

一般事業法人（a-1格）3M物では、0.100%台後半～0.20%台、その他金融で0.110%～0.15%台を予想する。

#### 《CPオペ》

今月は、6日（実施済）・14・24日と計3回の入札が実施される予定。6日実施済分のオペについては、先月27日オファーのオペレートが上昇したことを受け、強い応札状況となり按分レート・平均レートともに上昇した。27日のオペで、手持ちを落とせなかった業者が積極的に応札したと見られる。

次回以降のオペについても、なかなか低下しづらい展開となるのではないかと月末オペ残高は、1兆6000億円前後を予想する。

#### 《CP現先市場》

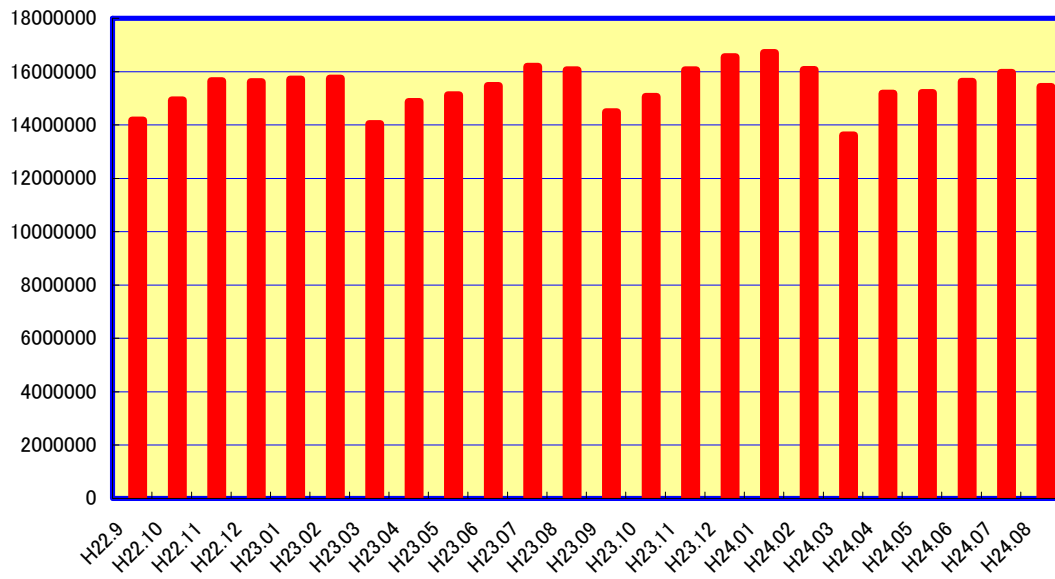
日銀の潤沢な資金供給姿勢は、今月も変わらないだろう。インターバンクレートは0.08%前後での推移。レポレートは、今月も余り動意のない状況が予想され、レートは横這い推移であろう。CP現先レートは、月中は0.105%前後での出合いを予想する。月後半、期末越えの運用が減少した場合には、0.11%近辺まで上昇するなど、やや強含み地合いとなるのではないかと。

**参考資料**

**短期社債月末残高（22年9月～24年8月）**

発行登録企業：497社（発行実績あり521社）

（過去2年間の残高を表示）



## 8月末発行残高ベスト20

### 8月末発行残高上位20社

(単位:百万円)

|    | 発行企業名                   | 8月末残高   | 7月末残高   |
|----|-------------------------|---------|---------|
| 1  | 三菱UFJリース                | 736,200 | 733,000 |
| 2  | 三井住友ファイナンス&リース          | 709,300 | 720,800 |
| 3  | 東京センチュリーリース             | 590,100 | 620,400 |
| 4  | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 580,790 | 592,980 |
| 5  | みずほフィナンシャルグループ          | 500,000 | 500,000 |
| 6  | JXホールディングス              | 404,000 | 440,000 |
| 7  | 三菱UFJモルガンスタンレー証券        | 384,300 | 409,300 |
| 8  | パナソニック                  | 380,000 | 380,000 |
| 9  | 東芝                      | 346,000 | 354,000 |
| 10 | 興銀リース                   | 336,400 | 337,900 |
| 11 | 芙蓉総合リース                 | 322,200 | 325,700 |
| 12 | JA三井リース                 | 318,000 | 316,000 |
| 13 | JFEホールディングス             | 311,000 | 281,000 |
| 14 | エイペックス・ファンディング・コーポレーション | 305,900 | 341,660 |
| 15 | アルカディア・ファンディング          | 298,220 | 311,730 |
| 16 | 新日本製鐵                   | 286,000 | 221,000 |
| 17 | 野村証券                    | 280,000 | 274,000 |
| 18 | みずほ証券                   | 275,700 | 290,100 |
| 19 | 関西電力                    | 246,000 | 227,000 |
| 20 | オリックス                   | 229,800 | 237,300 |

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋2丁目4番2号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号

加入協会 日本証券業協会